

「食の問題の中で最も関心のあること」

論点は
ここだ！

この課題で求められていること

- ①食に関する問題の中で関心のある話題を1つ取り上げる。
- ②その食の問題の現状と原因を押さえる。
- ③今後の取り組みについて、自分の考え、意見を主張する。

評価のポイント

この設問では、まず、食に関する適切な事例を取り上げることができたかどうか評価の対象となります。「小論文まとめワーク」では「食の安全・安心」、「食品ロス問題」、「食糧問題」、「食料自給率」の4つを取り上げていますが、ほかの事例を取り上げている場合は、内容が正しい知識に基づいているかを判断する必要があります。

次に、その問題が引き起こしている状況（現状）と、その問題がなぜ生じてしまったのかという原因についてしっかりと書けているかどうか問われます。採点者は、生徒が一般的な知識を持って

いるかという点も確認しています。

また、取り上げた食に関する事例への対策として、企業、地方自治体の対策や、政府が取り組んでいるような政策を正しく理解しているか、あるいは、自分自身が気をつけるべき身近な取り組みとして述べているかもポイントとなります。本来は両方をバランスよく述べるのが最も望ましいのですが、最低限どちらか一方の要素に関して、他人事ではなく自分が関係している問題として、この課題を前向きに捉えているかも評価のポイントになります。



気を付けたい答案例とアドバイス

✕「最近、テレビで食に関する問題が取り上げられていた。」

➡○取り上げられていた内容を具体的に示す。

食に関するどのような問題が取り上げられていたのかを示しましょう。例えば「最近、集団食中毒についてのニュースを見た。〇〇市内の病院で、複数の入院患者や職員がノロウイルスによる食中毒にかかったという。」のように、その内容を具体的に書くことによって、知識がしっかりあることを示すことができます。

✕「食品偽装をする生産者はよくない。」

➡○「よくない」行為を防ぐための具体的な改善策を示す。

「よくない」ことがなぜ起こるのか、そのためにどうすればよいのかを考えるのが小論文です。そのような食品偽装が行われてしまう「原因」を考察し、その問題を解決するための具体的な「改善策」を提案してみましょう。

✕「食品ロスを削減するために政府には頑張ってもらいたい。」

➡○自分には何ができるのかを考える。

たしかに、食品ロスの削減のためには、個人だけではなく国や自治体といった大きな単位での取り組みが必要です。しかし、私たち一人ひとりが何もしなくてもよいというわけではありません。国や自治体の取り組みにはどのようなことが必要で、そして自分にはどのようなことができるのか、それを明らかにすると、主体性

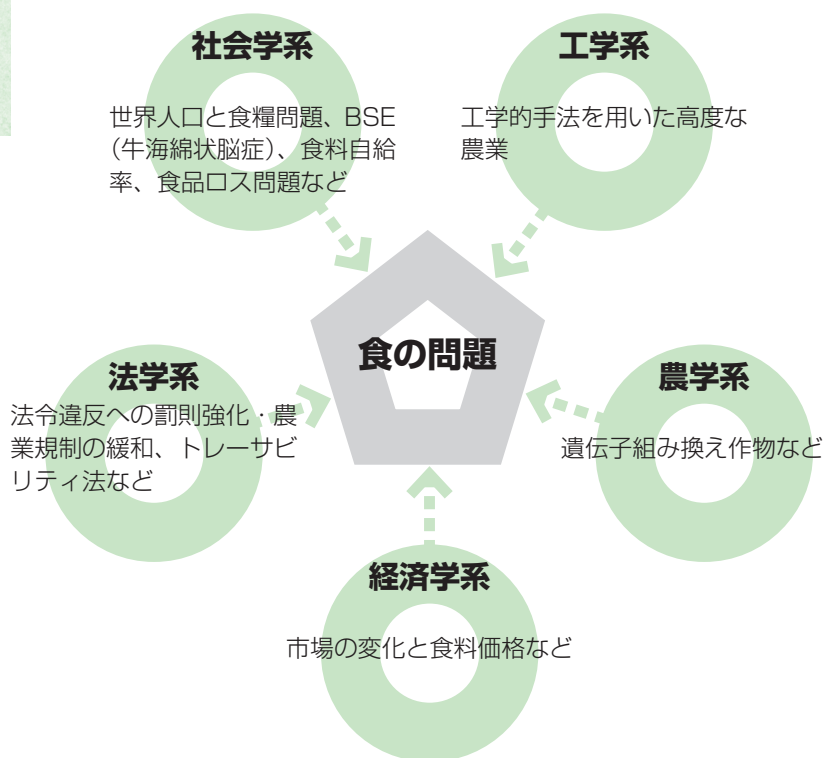
の感じられる文章を書くことができます。

✕「私は、家でごはんを残さず食べるようにしている。賞味期限切れで廃棄することがないように、賞味期限の近づいているものは早めに食べるようにしている。また、飲食店でも注文しすぎないようにして……」(以下、取り組んでいることが延々と書かれている)

➔ ○ 1つの「心構え」として簡潔に示す。

「食品ロス削減のために心掛けていること」を具体的に書くことはよいことですが、ただ書き並べるだけではいけません。食品ロス削減の方法は非常に多いため、そのような具体的な対策例は2つか3つに絞り、私たちが「食品ロス」についてどのように考えていくかという「心構え」で文章をまとめるとよいでしょう。「心構え」の内容としては、例えば、一人ひとりがどのような食品を購入するべきかという意識や、食べ物のありがたみを実感していかなければならないという意識が考えられます。

いろいろな分野からの
アプローチ



学部別出題例

【A大学 (医学部)】

「食品の安全」を確保するために必要なことを1000字以内で述べる。

【B大学 (農学部)】

大量の食品ロスが発生する原因としてどのようなことが考えられるか、そして食品ロスを減らすためにはどのような努力をするべきかについての考えを400字以内で述べる。

【C大学 (応用生物科学部)】

感染症の拡大や人口増加による世界の食料供給の混乱を危惧する文より、取り組むべき課題などを述べる。(字数不明)

【D大学 (経済学部)】

主な先進国の食料自給率および日本の食生活の変化の推移を表したグラフを参考にして、日本の状況を明らかにしながら、問題点や対策を600字以内で述べる。